

## 目録 List

鳥取県・島根県の動物相に関する文献  
目録 第3集 (2009–2011年)鶴崎展巨<sup>1</sup>・淀江賢一郎<sup>2</sup><sup>1</sup>〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101  
鳥取大学地域学部生物学研究室  
E-mail: ntsuru@rstu.jp<sup>2</sup>〒690-0862 松江市比津が丘2-1-7  
E-mail: shimane@sc4.so-net.ne.jp

<sup>1</sup>Nobuo TSURUSAKI and, <sup>2</sup>Ken-ichiro YODOE (<sup>1</sup>Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan; <sup>2</sup>Hizugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **Bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 3 (2009–2011).**

キーワード — 鳥根県, 鳥取県, 動物相, 記録, 文献目録

**Abstract** — This bibliography comprises literature concerning fauna of the San'in District (Tottori and Shimane Prefectures) published in a period from 2009 to 2011. Some articles published before 2009 may be also included when they have not been covered in the previous bibliographical series.

**Key words** — bibliography, fauna, faunal records, Tottori Prefecture, Shimane Prefecture, San'in District

鳥取県と島根県の動物相に関して2009年～2011年に出版された文献のリストである(前報までに掲載もれの2008年以前の文献も含む)。最後に付録として、両県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は鳥取県1種と島根県から2種)。

文献入手または文献情報収集にご助力をいただいた尾原和夫, 大浜祥治, 三島秀夫, 福本一彦の諸氏に御礼申し上げます。

## 凡 例

採録範囲は, おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが, 本県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が狭いなどで, 最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント, 内部的報告書, 大学のサークル・学校のクラブ

等の部内機関誌に掲載されたもの)も原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として, 短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も, 積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生・爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トンボ類/昆虫:直翅類/昆虫:半翅目/昆虫:甲虫/昆虫:双翅目/昆虫:鱗翅類/昆虫:膜翅目/昆虫:その他/クモガタ類・多足類/甲殻類/軟体動物/その他の無脊椎動物/化石・考古/その他), 著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは, 個々の文献の末尾に角かっこ(□)内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

NT = 鶴崎展巨, KY = 淀江賢一郎。

## 【総 合】

- Gotoh, T. (2009) Obituary. Shôzô Ehara (1928–2008). *International Journal of Acarology*, 35: 79–80. [鳥取]
- 林 成多・辻井要介・中野浩史・山口勝秀・越川敏樹(2011) 鳥根県出雲市の河川に生息する水生生物。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 3, pp. 1–108. / 2007年～2010年の出雲市内の河川調査結果。174種の無脊椎動物, 64種の脊椎動物を記録。昆虫類150種, 魚類54種, 両生類9種など。[島根]
- 井上雅仁・三島秀夫・大畑純二(2009) 赤名湿地で見られる動植物について(中間報告)。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, pp. 37–52. / 2008年に複数回実施した調査報告。昆虫類は203種。注目すべき種としてハッチョウトンボ, ヒメシジミ, クシロツマジロケンモンがあげられている。採集データが付されているので利用価値がある。(KY) [島根]
- 井上雅仁・三島秀夫・大畑純二(2011) 世界遺産石見銀山遺跡周辺で確認された動植物目録。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 49–75. / 2006年から2010年に現地で確認された目録。哺乳類26種, 鳥類79種, 爬虫類8種, 両生類14種, 昆虫類は相当数がリストされているが集計がなく何種類あるのかすぐにはわからない。鳥根県初記録種もあるが, データが示されず特記もない。目録全体にデータがなく利用価値が低いのが残念である。(KY) [島根]
- 小林一彦(2011) 自然の魅力を伝えつづけて逝った。中国山地を中心とした30年間の自然案内の記録。山本印刷株式会社(倉吉市), 287 pp. 1050円 / 鳥取県の自然や動植物を熟知し, 鳥取自然保護の会を長年実質的に運営された小林一彦氏が同会の自然観察例会の手引きとしてつくられた鳥取県内各地の自然案内をまとめたもの。

- 鳥取県内の一部の書店で市販されたが、収益が東北大地震の被災者支援に使われると表示されたことも手伝ったのか、きわめて短期間で売り切れ、本書を真に必要なとす人に十分に行き渡らなかったことが懸念されることが少し残念。(NT) . [鳥取]
- 小林京子(編)(2009) 駆け抜けた72年 ナチュラリスト小林一彦追悼集. 247 pp. [鳥取]
- 小林朋道(2009) 先生、子リスたちがイタチを攻撃しています! [鳥取環境大学]の森の人間動物行動学. 築地書館(東京), 217 pp. ISBN: 978-4-8067-1384-5, 1600円.
- 小林朋道(2010) 先生、カエルが脱皮してその皮を食べています! [鳥取環境大学]の人間動物行動学. 築地書館(東京) 193 pp. ISBN: 978-4-8067-1400-2, 1600円.
- 小林朋道(2011) 先生、キジがヤギに縄張り宣言しています! [鳥取環境大学]の森の人間動物行動学. 築地書館(東京) 185 pp. ISBN: 978-4-8067-1419-4, 1600円.
- 小林朋道(2011) 樋門前「円形溜り+水路」構造による絶滅危惧種を含む水生動物の生息地創出の試み. 山陰自然史研究, No. 6: 17-23. / 鳥取県東部の袋川に河川敷にある樋門に河川改修にともない設置した水場におけるスナヤツメ、アカハライモリ、メダカ、クロゲンゴロウなどの生息・繁殖状況の報告。[鳥取]
- 鳥取砂丘検定公式テキストブック編集委員会(編)(2009) 砂丘を知ろう 鳥取砂丘検定 公式テキストブック. 鳥取砂丘検定実行委員会・今井書店(鳥取市) ISBN: 978-4-938875-64-0, 64 pp. 800円. [鳥取]
- 鶴崎展巨(2009) 江原昭三博士(1928-2008)を偲んで. *Edaphologia*, No. 85, pp. 75-77. [鳥取]
- 鶴崎展巨(2009) 江原昭三博士(1928-2008)を追悼して. 日本応用動物昆虫学会中国支部会報, No. 51, pp. 41-42. [鳥取]
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎(2010) 鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第2集(2008年). 山陰自然史研究, No. 5, pp. 87-95. [鳥取・島根]
- 鶴崎展巨(2010) 鳥取砂丘のイソコモリグモとレッドリスト掲載動物. pp. 69-72. In: 鳥取砂丘再生会議(保全再生部会)(編)山陰海岸国立公園 鳥取砂丘景観保全調査報告書(鳥取砂丘再生会議 保全再生部会), 79 pp. [鳥取]
- 鶴崎展巨(2010) 鳥取砂丘の動物. pp. 20-21. In: (財)自然公園財団(編)山陰海岸国立公園パークガイド 鳥取砂丘, 48 pp. [鳥取]
- 財団法人自然公園財団(編)(2010) 大山隠岐国立公園パークガイド. 大山. 財団法人自然公園財団, 48 pp. [鳥取]
- 淀江賢一郎(2010) 近木英哉先生. すかしば, No. 58, p. 40. / 訃報. [鳥根]
- 淀江賢一郎(2010) 中村泰士先生. すかしば, No. 58, p. 40. / 訃報. [鳥根]
- 淀江賢一郎(2011) 中国地方の自然系博物館アンケート. 日本鱗翅学会中国支部会報, No. 11, pp. 16-20. / 中国地方5県9館の昆虫を扱う博物館の鱗翅目標本の実情についてのアンケート結果. 意外に標本収蔵能力がないことが判明した。[鳥取・島根]

## 【哺乳類】

- 藤木大介・岸本康誉・坂田宏志(2011) 兵庫県氷ノ山山系におけるニホンジカ *Cervus nippon* の動向と植生の状況. 保全生態学研究, 16(1): 55-67. / 氷ノ山におけるニホンジカの下層植生への食害の調査結果. 1990年以降の寡雪化を起因として, 1999年以降, 氷ノ山でのシカの高密度化が進行. 13種のRDB掲載種を含む230種の植物種に食痕が認められ, 下層植生の衰退が面的に広がっている. 調査範囲はほとんどが兵庫県側。(NT) [鳥取]
- 井上貴央(2009) 青谷の骨の物語. 今井書店(米子市), 1500円, ISBN: 978-4-938875-57-2 [鳥取]
- 川上 靖・一澤 圭(2010) 鳥取県沿岸に漂着した大型海洋動物(2008年~2009年)とウミガメ類の産卵記録. 鳥取県立博物館研究報告, No. 47, pp. 83-86. [鳥取]
- 小林朋道(2010) ヒメネズミ *Apodemus argenteus* の幼獣で発見された捕食者の臭いに対する新しいタイプの行動(予報). 山陰自然史研究, No. 5, pp. 9-13. / 材料(7幼獣)は鳥取県智頭町芦津の標高800 mの自然林で2009年11月に捕獲されたもの。[鳥取]
- 小林朋道(2011) 鳥取県智頭町芦津森林で見られた樹上性齧歯類や鳥類の巣箱の使い分け. 鳥取県立博物館研究報告, No. 48, pp. 95-101. / 智頭町芦津の標高660 mの森林の樹幹に設置された108個の巣箱の利用状態の報告. 調査年は2008年. ニホンモモンガ, ヤマネ, ヒメネズミ, シジュウカラ, ヤマガラが利用. いずれも最上部(6 m高)の巣箱が利用される傾向があった. ニホンモモンガがヒメネズミやカラ類よりも優先して利用. (NT) [鳥取]
- 中野浩史・桑原友春・金森弘樹(2011) 斐伊川ワンドに侵入したヌートリア *Myocastor caypus* と捕食された淡水二枚貝の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 315-317.
- 岡田 純・岡田珠美・一澤 圭(2010) 鳥取県西部からのキクガシラコウモリの新産地. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 63-66. [鳥取]
- 岡田珠美・岡田 純・上野吉雄・内藤順一(2010) 鳥取県若桜町氷ノ山からのヒメホオヒゲコウモリの初記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 62-63. [鳥取]

- 大畑純二(2009)日本産陸棲哺乳類頭骨図. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, pp. 67-106. / 日本産哺乳類30種31個体の頭骨標本の線画。ネズミ, モグラ, コウモリ, テン, ニホンアシカなど大半が島根県産。[島根]
- 大畑純二(2010)哺乳類の頭骨及び骨格の図. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 53-84. [島根]
- 大畑純二(2011)島根県産哺乳類短報. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, p. 129. [島根]
- 大畑純二(2011)江津市川平廃坑のコウモリ. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 89-98. / 5種のコウモリの冬眠状況の調査記録。[島根]
- 大畑純二・井上雅仁・三島秀夫(2011)石見銀山遺跡大久保間歩のコウモリ(II). 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 77-87. / キクガシラコウモリ, モモジロコウモリ, ユビナガコウモリ, テングコウモリの4種について冬眠状態を調査。観光とコウモリ保護についてなど。(KY) [島根]
- 田村典子・松尾龍平・田中俊夫・片岡友美・広瀬南斗・富士本八央・日置佳之(2007)中国地方におけるニホンリスの生息状況. 哺乳類科学, 47(2): 231-237. [鳥取・島根]

## 【鳥類】

- 星野由美子(2010)大田市で観察されたコウノトリの記録. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 47-48. / 2008年12月19日, 大田市久手町の波根湖干拓地に飛来。[島根]
- 星野由美子(2011)大田市で観察されたレンカクの記録. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 109-110. [島根]
- 星野由美子・市橋直規・中森純也(2010)ふれあいの里奥出雲公園の鳥類相(中間報告). 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 33-39. / 雲南市掛合町波多。基礎調査で59種, 標識調査で27種(156個体)。アカショウビン, ヤイロチョウ, サンコウチョウなどを確認。[島根]
- 池田兆一・池田純代(2009)ブッポウソウ巣立ち前ヒナの給餌回数の減少について. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 331-335.
- 石本賢治(2009)島根県におけるウチヤマセンニュウの繁殖記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 343-346. [島根]
- 神谷 要(2008)中海とラムサール条約. pp. 40-41. In: 杉本良巳(監修)決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科. 郷土出版社(松本市), 238 pp. [鳥取]
- 桐原桂介(2008)米子水鳥公園. pp. 38-39. In: 杉本良巳(監修)決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科. 郷土出版社(松本市), 238 pp. [鳥取]
- 三上 修・森本 元(2011)標識データに見られるスズメの

減少. 山階鳥類学雑誌, 43(1): 23-31. / 1987年から2008年までの標識データをもとにスズメの個体数の減少の有無を評価。全鳥類の標識個体数はこの20年間, ほぼ横ばいであるが, スズメの個体数は半分に減少していた。使用した観測ステーション31カ所の中に中海が入っている。(NT) [鳥取]

- 森 茂晃(2010)島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園で確認された鳥類(2005年6月-2009年5月). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 291-300. [島根]
- 村田麻理恵・中森純也・永松 大(2011)鳥取大学鳥取キャンパスの鳥類相と季節変動. 山陰自然史研究, No. 6, pp. 25-36. / 2006年から2010年にかけての鳥取大学構内での鳥類相調査の報告。38科122種を記録。アカハラダカ(2008年10月1日)とセキセイインコ(2008.2~10.9)は鳥取県初記録(2008年10月1日)。後者はかご抜け。他に記録の少ない種として, チゴハヤブサ, ヤマシギ, オオコノハズク, ヨタカ, ハリオアマツバメ, アマツバメ, ヒメアマツバメ, ヤツガシラ, アカモズ, ミソサザイ, カラアカハラ, シマセンニュウ, シロハラホオジロ, イスカ, コイカル, ソウシチョウの記録が含まれる。(NT) [鳥取]

## 【両生類・爬虫類】

- 藤田宏幸(2011)鳥取県の遺跡発掘現場で発見されたカスミサンショウウオ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 295-297. [鳥取]
- 藤田宏之(2009)島根県内のカスミサンショウウオ(高地型)の産卵地の一例. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 273-275. / 奥出雲町竹崎地区標高約720 mの林道沿い水路におけるカスミサンショウウオ高地型の産卵記録。[島根]
- 深川博美(2010)鳥取市内で発見されたニホンイシガメとスッポンの記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 65-66. [鳥取]
- 福本一彦(2010)鳥取県におけるフロリダアカハラガメとミシシippiaアカミミガメの採捕記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 68-69. [鳥取]
- 桐原桂介(2010)鳥取県西伯郡南部町におけるニホンイシガメとクサガメの種間雑種の記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 67-68. [鳥取]
- 桐原真希(2010)鳥取県西伯郡南部町におけるカスミサンショウウオの記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 71-74. [鳥取]
- 小林朋道(2008)鳥取市河川敷のアカハライモリ個体群で見られた繁殖池での活動の性差. 鳥取環境大学紀要, No. 6, pp. 21-29. [鳥取]

- 小林朋道(2008)希少水生動物種の生息地になりやすい樋門周辺水場の調査と保全対策(予報). 鳥取環境大学紀要, No. 6, pp. 31-38. [鳥取]
- 松田隆嗣(2011)出雲市外園海岸に漂着したアカウミガメとオウムガイの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 42. [鳥根]
- 大浜祥治(2009)隠岐・島前で確認したヘビ2種. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, p. 162. / 隠岐西ノ島からシロマダラとヒバカリの記録. [鳥根]
- 岡田 純・一澤 圭(2011)鳥取県東部(八頭町私都川)からのオオサンショウウオの捕獲記録. 山陰自然史研究, No. 6, pp. 54-55. / オオサンショウウオの記録の乏しい鳥取県東部からのオオサンショウウオの記録. 八頭町池田私都川(2010.9.17). [鳥取]
- 岡田 純・岡田珠美(2010)鳥取県日南町日野川からのニホンイシガメの記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 64-65. [鳥取]
- 岡田 純・岡田珠美・小林佳崇(2010)鳥取県におけるシロマダラの記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 70-71. [鳥取]
- 寺岡誠二・山口勝秀(2009)鳥根県立宍道湖自然館に持ちこまれた蛙の変異個体. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 221-227. / ニホンアマガエル, シュレーゲルアオガエル, トノサマガエル, ニホンアカガエルのおもに色彩変異個体の記録. [鳥根]
- 寺岡誠二・藤田宏之(2010)鳥根県出雲市におけるアオダイショウ大型個体の脱皮殻の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 279-288. [鳥根]
- 矢田貝繁明(2008)オオサンショウウオ. p. 35. In: 杉本良巳(監修)決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科. 郷土出版社(松本市) 238 pp. [鳥取]

### 【淡水魚類】

- Arai, R., Fujikawa, H. & Nagata, Y. (2007) Four new subspecies of *Acheilognathus* bitterlings (Cyprinidae: Acheilognathinae) from Japan. Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser A, Suppl. 1: 1-28. / アカヒレタビラの4新亜種の記載. 富山県~鳥根県にかけての日本海側のアカヒレタビラは新亜種*Acheilognathus tabira jordani*に所属. タイプ産地は石川県小松市木場潟. (NT) [鳥取・鳥根]
- 福本一彦・三上裕加・檜垣英司(2010)鳥取県多鯰ヶ池における魚類相. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 15-21. / 鳥取市多鯰ヶ池における2005年と2006年の魚類調査の結果. ブルーギルが全採捕数の72-88%, オオクチバスが7-22%を占めていた. 1980年の調査で確認されていたミナミアカヒレタビラ, ヤリタナゴ, モツゴは確認

されず. 淡水甲殻類(テナガエビなど), 貝類(イシガイなど)の記録も含む. [鳥取]

- 福本一彦(2010)鳥取県内の農業ため池におけるオオクチバス, ブルーギルの生息実態. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 23-27. / 鳥取県内の2カ所の農業用ため池(鳥取市本谷(ほんだに)池と琴浦町扇堤)における特定外来種オオクチバスとブルーギルの生息実態調査の報告. 淡水エビ類やミシシippアカミミガメの記録も含む. [鳥取]
- 小林朋道(2010)樋門近くの河川敷に創出した水場へのスナヤツメとアカハライモリの定着・繁殖. 鳥取県立博物館研究報告, No. 47, pp. 1-5. [鳥取]
- 越川敏樹(2009)中海本庄工区におけるハゼ科魚類採集調査による棲息量の変化. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 337-342. [鳥根]
- 越川敏樹(2010)中海本庄水域におけるハゼ科魚類採集調査による棲息量の変化(続報). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 323-327. [鳥根]
- 越川敏樹(2011)宍道湖・中海における魚類の減少状況 — 減少のいちじるしい10種の傾向から. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 315-317. [鳥根]
- 宮倉 誠(2011)おさかな付き合い. ~日野川水系の淡水魚たち~, 今井出版(米子市), 247 pp. 978-4-901951-77-7. 1200円 [鳥取]
- 中野浩史(2011)鳥根県立宍道湖自然館に持ち込まれた色彩変異個体のウナギ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 318. [鳥根]
- 山口勝秀(2011)鳥根半島及び中海におけるリュウグウノツカイ及びテンガイハタの漂着・採捕の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 178. [鳥根]
- 山口勝秀(2011)斐伊川水系におけるカワアナゴの初記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 194. [鳥根]
- 山口勝秀(2011)中海でアンコウを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 298. [鳥根]
- 矢田貝繁明(2008)日野川水系の魚類. pp. 33-34. In: 杉本良巳(監修)決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科. 郷土出版社(松本市), 238 pp. [鳥取]

### 【昆虫:総合】

- 林 成多(2009)2008年9月に鳥根県奥出雲町の吾妻山で採集した流水性昆虫. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, p. 122. / 奥出雲町大馬木川上流の沢からの21種の水生昆虫の記録. [鳥根]
- 林 成多(2011)鳥取砂丘「オアシス」の昆虫. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 212. [鳥取]

- 林 成多(2011) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 133-164. [島根]
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 299-306. [島根]
- 亀山 剛・西 昌弘・中村慎吾(2009) 江の川の昆虫類 2004年の調査結果. 比和科学博物館研究報告, (50): 1-219. / 2004年に江の川で実施された河川水辺の国勢調査結果. 島根県から6地点, 広島県から7地点を選定. 春・夏・秋の3回の調査で1615種を確認した. 1994年には1405種, 1999年には1576種が記録されており, 重複種を整理すると, 2609種になるという. このうち島根県産が何種になるかは集計表がない. オオヒョウタンゴミムシが内陸部の邑智郡浜原町で記録されている. (KY) [島根]
- 清末忠人(2009) 鳥取県における3種の昆虫の新産地. ゆらぎあ, No. 27, pp. 12-13. / キベリゴマフエダシヤク, ハマオモトヨトウ, オオコオイムシの記録. [鳥取]
- 三島壽雄(2008) 鳥取県西部地域の昆虫類. pp. 35-37. In: 杉本良巳(監修) 決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科. 郷土出版社(松本市) 238 pp. [鳥取]
- 野津幸夫(2011) 2010年伯耆大山での観察, 採集した昆虫. ゆらぎあ, No. 29, pp. 26-27. [鳥取]
- 尾原和夫(2009) 塩冶の動物(昆虫類). 「出雲塩冶誌」 pp. 37-87. / 出雲市塩冶地区の昆虫相の概要について解説. 500種を超える. [島根]
- 佐藤隆士・鶴崎展巨(2010) 鳥取砂丘の昆虫相(予報). 鳥取県立博物館研究報告, No. 47, pp. 45-81. [鳥取]
- 佐藤隆士・川上 靖(2009) 佐藤博巳昆虫コレクション目録. 鳥取県立博物館研究報告, No. 46, pp. 51-72. [鳥取]
- 鶴崎展巨(2011) 大学キャンパスの昆虫相. (6) 鳥取大学湖山キャンパス. 昆虫と自然, 46(9): 27-29. [鳥取]
- ピロトンボは発見できなかったという. (KY) [島根]
- 小坂一章(2009) 江の川中流域に居すキイロヤマトンボ. 山口のむし, No. 8, pp. 79-91. / 著者の思い入れのこもった長編. 島根県内からは邑智郡邑南町宇都井(2007年7月24日), 邑智郡美郷町(2007年9月10日)の2カ所で幼虫確認. (KY) [島根]
- 小坂一章(2010) 中国太郎下流域に散居するキイロヤマトンボ. 山口のむし, No. 9, pp. 117-126. / 2008年4月から2009年9月の間に江の川下流域美郷町粕淵~江津市渡津町までの約50kmを, 計5回にわたって幼虫調査を行った記録. 熱い情熱のこもった報文. 美郷町粕淵(2007年9月11日), 江津市松川町(2008年4月30日)で生息を確認. 「江の川水系が日本を代表するキイロヤマトンボの生息地であることを顕示」された. (KY) [島根]
- 小坂一章(2010) 石州高津川にキイロヤマトンボあり. 山口のむし, No. 9, pp. 127-134. / 益田市向横田町大滝, 吉賀町柿木村白谷, 益田市飯田町, 益田市隅村赤松, 益田市神田町で幼虫の生息を確認. アマチュアの行う研究は結果よりも, 経過が重要かつ面白いということを感じさせてくれる. (KY) [島根]
- 宮本詔子・宮本聡史(2010) 益田市におけるベニイトトンボの分布調査. すかしば, No. 58, pp. 27-29. [島根]
- 宮本詔子・宮本聡史(2010) 益田市中垣内町でハッチョウトンボを確認する. すかしば, No. 58, p. 30. [島根]
- 宮本詔子・宮本聡史(2009) 益田市でオナガアカネを採集. すかしば, No. 57, pp. 34-35. [島根]
- 大浜祥治(2009) 2008年, 島根県のタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, No. 57, pp. 27-28.
- 大浜祥治(2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, No. 57, pp. 37-44. [島根]
- 大浜祥治・坂田国嗣(2010) カトリヤンマに寄生するヤンマタケ(冬虫夏草)を発見!. すかしば, No. 58, p. 31. [島根]

## 【昆虫類:カワゲラ目】

- 林 成多・藤原淳一(2010) 島根県東部におけるカワゲラ目成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 119-127. [島根]

## 【昆虫類:直翅目と近縁群】

- 伴 一利(2010) マンシュウアカネを島根県で採集. 山口のむし, No. 9, p. 152. / 2009年10月4日, 松江市島根町野波, 8♂採集. 島根県初記録(中国地方初記録). 同時に, タイリクアカネ22♂8♀, オナガアカネ12♂11♀も採集. (KY) [島根]
- 川久保千恵・星川和夫(2011) 三瓶山姫逃池におけるトンボ群集の変遷. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 25-33. / 2009年5月~10月, 月1回の成虫調査, 2009年11月に幼虫調査を実施. 成虫は26種(1208個体), 幼虫は14種(919個体)を確認. 以前には見られたモートンイトトンボ, ルリボシヤンマ, ハッチョウトンボ, ハラ
- 端山 武(2010) 島根県出雲市坂浦海岸からのイソハサミムシ(ハサミムシ目ハサミムシ科)の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 149-150. [島根]
- 林 成多・川上 靖・門脇久志(2010) 鳥取県大山における直翅目の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 11-118. [鳥取]

- Kawakami, Y. & Tatsuta, H. (2010) Variation in the shape of genital appendages along a transect through sympatric and allopatric areas of two brachypterous grasshoppers, *Parapodisma setouchiensis* and *Parapodisma subastris* (Orthoptera: Podisminae). *Ann. Entomol. Soc. Am.*, 103 (3): 327–331. / セトウチフキバツタとキンキフキバツタの雄の交尾器の尾角が異所的集団では異なるが、兵庫県内の同所的地域では形態差が増幅する(形質置換)。交尾実験から、セトウチフキバツタ丹波型の直角に曲がった尾角は交尾時に雌の把持に役立つこと、また、これが交配前生殖隔離の促進に役立つと推定。
- 川上 靖(2010)鳥取県におけるシブイロカヤキリ(キリギリス科)の分布。山陰自然史研究, No. 5, pp. 74–75. [鳥取]
- 松田隆嗣(2011)鳥根県産ゴキブリ目の記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 195–200.
- 皆木宏明(2009)鳥根県で確認された外国産のスラウエシヒラタクワガタ(コウチュウ目:クワガタムシ科)。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, p. 125. / 2008年7月下旬～8月1日の朝、大田市朝山町の雑木林にて1♂が発見された。[鳥根]
- 皆木宏明(2009)鳥根県西部でのベーツヒラタカミキリ確認2例(コウチュウ目:カミキリムシ科)。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, pp. 127–128. [鳥根]
- 中野浩史(2011)鳥根県松江市東忌部町でショウリョウバッタモドキを確認。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 178. [鳥根]
- 大浜祥治(2009)隠岐・島前で確認した直翅類 -第2報-。すかしば, No. 57, pp. 9–12. [鳥根]
- 大浜祥治(2010)鳥根半島沿岸部でシブイロカヤキリとヒサゴクサキリを確認。すかしば, No. 58, p. 13. [鳥根]
- 佐藤隆士・小林佳崇・岡田珠美・田中俊平・田中哲也(2011)鳥取県内からの2010年のセグロイナゴ *Shirakiacris shirakii* の記録。山陰自然史研究, No. 6, pp. 56–58. / 鳥取県内で記録の少ないセグロイナゴの鳥取砂丘と鳥取市中ノ茶屋からの2010年の記録。[鳥取]
- 山添 学・星川和夫(2009)三瓶山東の原におけるバッタ類の草原利用。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, pp. 53–59. / 2008年の秋3回の調査で37種を確認。13種が三瓶からは初記録。文献記録を合わせると三瓶からは55種が記録されたことになるという。(KY) [鳥根]
- 【昆虫類:半翅目】**
- 端山 武(2009)鳥根県出雲市の外園海岸に漂着するセンタウミアメンボ。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 147–148. / 外洋性のウミアメンボであるセンタウミアメンボの出雲市と松江市の漂着記録。[鳥根]
- 林 成多(2010)鳥取県日南町におけるタニソバマダラキジラミ *Aphalara sasajii* Miyatake (半翅目キジラミ科)の記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 15–16. [鳥取]
- 林 成多(2010)「大万木山産キュウシュウエゾゼミ」の標本はコエゾゼミ。すかしば, No. 58, p. 16. [鳥根]
- 林 成多(2011)鳥根県のセミ類に関する知見。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 87–96. [鳥根]
- 林 成多・松田隆嗣(2011)山陰地方の海岸におけるセンタウミアメンボとツヤアメンボの漂着。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 205–211. [鳥取・鳥根]
- 林 成多・宮武頼夫・門脇久志(2011)鳥根県のキジラミ相。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 213–250. [鳥取]
- 林 成多・宮武頼夫・門脇久志(2011)鳥取県大山とその周辺のキジラミ相。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 269–293. [鳥取]
- 生田 敬(2009)11月のミンミンゼミ。ゆらぎあ, No. 27, pp. 24–25. [鳥取]
- 川野敬介・尾原和夫・大木克行・吉岡誠人・青木新吾・林成多・皆木宏明(2011)鳥根県産水生半翅類の分布記録。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 2, pp. 1–104. / 現地調査, 文献調査から60種を記録。生息環境写真, 標本写真もカラーで示されている。ミズカメムシ・オヨギカタビロアメンボの2種は鳥根県初記録。(KY) [鳥根]
- 野津幸夫(2011)アヤヘリハネナガウンカを鳥取県伯耆大山で採集。ゆらぎあ, No. 29, pp. 21–22. / 鳥取県大山三ノ沢でのアヤヘリハネナガウンカの採集記録。鳥根県松江市枕木山華蔵寺(1994年)と飯南町来島ダム(1994年)の記録も含む。[鳥取・鳥根]
- 野津幸夫・前川尚嗣・増本育子(2011)南方系キマダラカメムシ鳥根県に産す。中国昆虫, No. 25, p. 71. / 松江市玉湯町において南方系種のキマダラカメムシを記録。鳥根県新記録。[鳥根]
- 尾原和夫(2009)ヒメジュウジナガカメムシの群生。すかしば, No. 57, p. 18. [鳥根]
- 尾原和夫(2009)島田孝氏採集の隠岐産同翅類, すかしば, No. 57, pp. 19–26. [鳥根]
- 尾原和夫(2009)鳥根県におけるコオイムシの記録。ホシザキグリーン財団研究報告, 12: 207–211. [鳥根]
- 尾原和夫(2010)珍種イシハラカメムシを奥出雲町で発見。すかしば, No. 58, p. 12.
- 尾原和夫(2010)「隠岐のキジラミ類」の訂正。すかしば, No. 58, p. 12.

尾原和夫(2010) 大根島の陸生半翅類. すかしば, No. 58, pp. 7-11.

大浜祥治(2009) 隠岐・島前でタガメを確認. すかしば, No. 57, p. 36. [島根]

Okudera, S. (2009) Taxonomic note on Japanese species of the genus *Pedionis* Hamilton (Auchenorrhyncha, Cicadellidae, Macropsinae). Japanese Journal of Systematic Entomology, 15 (2): 313-318. / ヨコバイ科 *Pedionis venosa* Hamilton 1980 (和名なし), の検討標本に鳥取県大山大山口の1♂が含まれる。[鳥取]

谷本純子・有馬千弘・亀田篤史・花房佑樹・鶴崎展巨(2010) 鳥取県における外来性半翅目2種の分布. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 39-42. [鳥取]

山脇清高(2011) エゾゼミの斑紋異常. ゆらぎあ, No. 29, p. 26. [鳥取]

山崎秀雄(2011) 東京都三鷹市と鳥取県米子市のヘクソカズラゲンバイ. 月刊むし. No. 481, p. 48. [鳥取]

湯川淳一・桐谷圭治(2010) 北上するミナミアオカメムシと局地的に絶滅するアオクサカメムシ. pp. 72-89. In: 桐谷圭治・湯川淳一(編) 地球温暖化と昆虫. 346 pp. / 中国地方におけるミナミアオカメムシの分布北上の図が含まれる。2007年の時点で鳥取県では雲南市から西はミナミアオカメムシとアオカメムシの混棲域となっているが, 出雲市, 斐川町, 松江市, 鳥取県の日吉津から岩美町までの4地点はまだアオカメムシの単独生息域となっている。(NT) [鳥取・島根]

#### 【昆虫類:脈翅目とヘビトンボ目】

Matsuno, S., Ohbayashi, N., Liu, X. & Hayashi, F. (2009) A list of Megaloptera (Neuropterida) specimens in the collection of the Ehime University Museum. Japanese Journal of Systematic Entomology, 15: 457-468. / 愛媛大学に保管のヘビトンボ目の標本のリスト。次の種の標本に鳥取県産が含まれる: *Protohermes grandis* (Thunberg 1781)ヘビトンボ(氷ノ山), 次の種の標本に鳥取県産が含まれる: *Protohermes grandis* (Thunberg 1781), ヘビトンボ(隠岐島後大満寺山)。[鳥取・島根]

戸田賢二・鶴崎展巨(2010) 鳥取県の海浜性ウスバカゲロウ類の1990-1991年における分布と生息地の砂の粒度. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 29-33.

鶴崎展巨・小玉芳敬(2010) 鳥取県岩美町の山陰海岸海浜におけるウスバカゲロウ類の分布. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 35-38.

#### 【昆虫類:鞘翅目】

青木淳一(2009) ホソカタムシの誘惑. 東海大学出版会(東京), 194 pp. 2800円。/ ホソカタムシの全種の図示と分布図を掲載。鳥根県からはムキヒゲホソカタムシ科として, サビマダラオオホソカタムシ, クロツヤツツホソカタムシ(隠岐島後)の2種, コブゴミムシダマシ科として, アバタツヤナガヒラタホソカタムシ, サシゲホソカタムシ, マダラホソカタムシの3種。鳥取県からは, コブゴミムシダマシ科のサシゲホソカタムシ, メダカヒメヒラタホソカタムシ, マダラホソカタムシの3種にプロットが見える。[鳥取・島根]

青木新吾(2010) 島根県初記録となるエゾコガムシの記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, p. 110. [島根]

青木新吾・川野敬介(2010) 島根県2例目となるムツボシツヤコツブゲンゴロウの記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, p. 82. [島根]

藤谷美文(2009) 島根県のチビシテムシ. 山口のむし, No. 8, pp. 77-78. / 鳥根県から14種記録(藤原淳一氏, 松田隆嗣氏採集品)。[島根]

藤谷美文(2011) 鳥取県産チビシテムシの採集記録. すずむし, No. 146, pp. 39-42. / 鳥取県智頭町八河谷と江府町御机木谷沢の2カ所で2007年5月から11月までベイトトラップをかけて採集されたタマキノコムシ科チビシテムシ亜科19種の記録。[鳥取]

藤原淳一・沼田京子(2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 259-272. / 鳥根半島東部29地点, 隠岐諸島31地点からの7科30種の確認。[島根]

端山 武(2010) 鳥根県益田市喜阿弥海岸からのウミミズギワゴミムシ(コウチュウ目オサムシ科)の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 147-148. [島根]

端山 武(2010) 鳥根県におけるイソジョウカイモドキ(コウチュウ目ジョウカイモドキ科)の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 151-154. [島根]

林 成多(2009) 鳥根県産水生甲虫類の分布と生態III. ホシザキグリーン財団研究報告. 12: 235-268. / 鳥根県からの13科62種の水生甲虫の記録・分布・生態。[島根]

林 成多(2009) 鳥根県東部の水田で繁殖する水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告. 12: 289-298. / 雲南市と出雲市の水田における水生甲虫の調査。[島根]

林 成多(2009) 日本産ヒラタドロムシ科概説. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 12, pp. 35-85. / ヒラタドロムシ科の総説。次の種に鳥取産の記録が含まれる(ヒメヒラタドロムシ, クシヒゲマルヒラタドロムシ, マルヒラタドロムシ, マルヒゲナガハナノミ, チビヒゲナガハナノミ, チビマルヒゲナガハナノミ, ヒラタド

- ロムシ, ヒメヒラタドロムシ). 島根県産の記録が含まれる(ヒメヒラタドロムシ, クシヒゲマルヒラタドロムシ, マルヒラタドロムシ, マルヒゲナガハナノミ, ヒゲナガヒラタドロムシ, チビヒゲナガハナノミ, ホンシュウチビナルヒゲナガハナノミ, チビマルヒゲナガハナノミ, ヒラタドロムシ, ヒメヒラタドロムシ, マスダチビヒラタドロムシ). [鳥取・島根]
- 林 成多(2009)島根県の水生ガムシ科. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 12, pp. 87-121. 島根県産ガムシ科21種の成虫・幼虫の検索表つき総説. [鳥根]
- 林 成多(2010)島根県産カミキリムシ類の文献記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 17-43. [鳥根]
- 林 成多(2010)日本産ヒラタドロムシ科の分布資料. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 301-322. [鳥取・島根]
- 林 成多(2010)神戸川と斐伊川でのコブナシコブスジコガネの記録. すかしば, No. 58, p. 39. [鳥根]
- 林 成多(2010)外来種ミスジキイロテントウの記録. すかしば, No. 58, p. 39. [鳥根]
- 林 成多(2010)出雲市でコカブトムシを採集. すかしば, No. 58, p. 39. [鳥根]
- 林 成多(2011)クビアカナガクチキを島根県出雲市の宍道湖グリーンパークで採集. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, p. 174. [鳥根]
- 林 成多(2011)島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 1, pp. 1-117. / 島根県からこれまでに記録された水生甲虫の写真つきモノグラフ. 145種を収録. [鳥根]
- Hayashi, M. and Sota, T (2010) Identification of elm mid larvae (Coleoptera: Elmidae) from Sanin District of Honshu, Japan, based on mitochondrial DNA sequences. *Entomological Science*, 13: 417-424. / 島根県と鳥取県の河川から採集されたヒメドロムシ科幼虫のミトコンドリアCOI遺伝子に基づく分類と同定. [鳥取・島根]
- 林 成多・藤原淳一(2010)島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の甲虫目録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 79-81. [鳥根]
- 林 成多・藤原淳一(2011)島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の甲虫目録II. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 61-84. [鳥根]
- 林 成多・藤原淳一・松田隆嗣・門脇久志(2010)鳥取県大山における甲虫類の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 189-214. [鳥取]
- 林 成多・門脇久志(2010)鳥取県大山山麓の河川に生息する水生甲虫類III. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 155-187. [鳥取]
- 林 成多・門脇久志(2011)日野川流域における水生甲虫類の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 97-132. [鳥取]
- 林 成多(2011)島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号(1): 1-117. / 「水生」の定義は難しいが, 本報では145種を多数の図(成虫・幼虫)をつけて解説. 文献リストを見ると「島根県昆虫研究会(代表:前田泰生)」が実施した一連の調査報告が欠落している. [鳥根]
- 林 成多(2011)島根県産甲虫目録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号 No. 4, pp. 1-161. / 文献調査により108科2548種の甲虫類を記録(因みに岡山県は3425種). データベースをそのまま出力した印刷様式となってページ数は食うが, 見やすく利用しやすい. [鳥根]
- 星野啓太(2011)隠岐諸島島後におけるラミーカミキリの採集記録. 月刊むし, No. 490, pp. 28-29. / 隠岐初記録. [鳥根]
- 稲垣政志(2009)ドクトルふんふん採集記(隠岐糞虫天国編). 鯉角通信, No. 18, pp. 49-53. [鳥根]
- 井ノ上 健(2009)倉吉周辺のおサムシ採集記. ゆらぎあ, No. 27, pp. 8-9. [鳥取]
- 井ノ上 健(2010)雨の大山 カミキリ採集. ゆらぎあ, No. 28, pp. 14-17. [鳥取]
- 河上康子・藤原淳一・沼田京子(2009)2008年10月に隠岐諸島の海岸で採集した甲虫類の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 12, pp. 149-161. 隠岐諸島の海岸性の甲虫39種の記録. [鳥根]
- 桐原圭介(2010)米子市水鳥公園(鳥取県米子市)におけるコガタノゲンゴロウの記録. 山陰自然史研究, No. 5, p. 77. [鳥取]
- 小林佳崇・佐藤隆士(2010)鳥取県からのアカアマダラハナムグリの採集記録. 山陰自然史研究, No. 5, p. 76. [鳥取]
- Maruyama, M. & Hayashi, M. (2009) Description of the intertidal aleocharine *Halorhadinus sawadai* sp. n. from Japan, with notes on the genus *Halorhadinus* Sawada, 1971. *Koleopterologische Rundschau*, 79: 71-82. / *Halorhadinus* 属の改訂. *Halorhadinus sawadai* Maruyama & Hayashi を新種として記載. タイプ産地は出雲市猪目町猪目海岸. 日御碕でも採集. 他に *Halorhadinus aqualis* Sawada 1971 を日御碕から, *H. inaequalis* Sawada 1971 を日御碕と松江市美保関町福浦から記録. [鳥根]
- Morimoto, K. & Maeta, Y. (2009) A new species of *Stenoria* (Coleoptera, Meloidae) from Japan, with description of the first instar larva. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 15: 475-480. / 島根県江津市跡市町のムカシハナバチ科エサキムカシハナバチ *Colletes esakii* の巣から得られた個体に基づき, ツチハンミョウ科の



- 新種 *Stenoria oohatai* Morimoto & Meta を記載。[島根]  
 鳥田 孝・門脇久志・山内健生 (2009) 隠岐諸島の糞虫相 (甲虫目: コガネムシ上科)。人と自然, No. 20, pp. 93–106. [島根]
- 野津 裕 (2009) 島根県隠岐の島のゾウムシ採集記録。すかしば, No. 57, pp. 1–3. [島根]
- 野津 裕 (2009) 隠岐諸島・島後でのクチナガチビキカワムシを採集。すかしば, No. 57, p. 6. [島根]
- 野津幸夫 (2011) 鳥取県におけるホソハンミョウの再発見。ゆらぎあ, No. 29, pp. 12–14. / 大山鏡ヶ成でのホソハンミョウの記録。[鳥取]
- 野津幸夫 (2011) ナガフトヒゲナガゾウムシを鳥取県伯耆町で採集。ゆらぎあ, No. 29, pp. 21–22. [鳥取]
- 尾原和夫 (2009) 中海南岸における甲虫類の定点採集。すかしば, No. 57, pp. 13–17. [島根]
- Ogawa, R. & Sakai, M. (2011) A review of the genus *Cyparium* Erichson (Coleoptera, Staphylinidae, Staphidiinae) of Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 17: 129–136. / ハネカクシ科 *Cyparium* 属の改訂。 *Cyparium mikado* Achard, 1923 (カメノコデオキノコ) の検討標本に鳥取県大山産の標本が含まれる。[鳥取]
- 大原昌宏・林 成多 (2011) 島根県のエンマムシ類。さやばねニューシリーズ, No. 1, pp. 22–25. [島根]
- 大畑純二・皆木宏明・前田泰生 (2010) 日本から新たに発見されたクロゲンセイの若干の生態的知見 (英文)。島根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 13–15. / クロゲンセイはエサキムカシハナバチの労働寄生性天敵で、島根県江津市で寄主巢の発掘によって発見された。[島根]
- 大畑純二・皆木宏明 (2011) クロゲンセイの採集と生態等について。島根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 99–101. / クロゲンセイは2002年に大畑純二氏が江津市で発見された新属新種。卵, 1齢幼虫, 羽化などについて。(KY) [島根]
- Ohno, M. & Niisato, T. (2010) New record of *Cyrtoclytus monticallius* Komiya (Coleoptera, Cerambycidae) from Hokkaido, Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 16 (2): 177–178. / 鳥取県高鉢山がタイプ産地で日本では中国地方から近畿地方にかけての産地でしか知られていなかった (国外では朝鮮半島と中国広西自治区から知られている) アカネキスジトラカミキリ *Cyrtoclytus monticallius* Komiya を北海道石狩平野の馬追丘陵から記録。[鳥取]
- 沢田佳久 (2010) 海浜性トビイロヒョウタンゾウムシの二島嶼からの発見。日本生物地理学会会報, 65: 163–167. / 東京都八丈島と山口県見島からのトビイロヒョウタンゾウムシの報告。海浜性のトビイロヒョウタンゾウムシ, スナムグリヒョウタンゾウムシ, シラフヒョウタンゾウムシの日本における分布図が含まれ, 鳥取県, 隠岐, 島根県の海岸にはスナムグリヒョウタンゾウムシのプロットが見える。島根県の西端にはトビイロヒョウタンゾウムシのプロットも見える。[鳥取・島根]
- 初宿成彦 (編) (2011) 「大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 (1) ゲンゴロウ科・ゴミムシダマシ科・ナガクチキムシ科」 198 pp. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第43集。 / 鳥取県, 島根県, 隠岐島の多くの標本が含まれている (青木コレクションとも重複)。地名の誤記がいくつかある (「鳥取県作東町」→「岡山県作東町」, 「三机 (大山)」→「御机 (大山)」, 「鳥取県川上村」→「岡山県川上村」)。(KY) [鳥取・島根]
- Takahashi, K. & Imasaka, S. (2010) A revision of the *Pseudolictrius* species group of the genus *Asiopodabrus* (Coleoptera, Cantharidae). Japanese Journal of Systematic Entomology, 16(1): 123–160. / *Asiopodabrus daisenensis* Imasaka & Takahashi, 2010 タイセンニンフジョウカイ (タイプ産地: 大山元谷小屋) の記載が含まれる。本種は鳥取県のほか岡山県, 兵庫県に分布。[鳥取]

## 【昆虫類: ネジレバネ目】

- 前田泰生 (2010) 鳥取県産ネジレバネ類 (ネジレバネ目) の採集記録。山陰自然史研究, No. 5, pp. 53–54. [鳥取]

## 【昆虫類: 双翅目】

- 林 成多・門脇久志 (2009) 鳥取県大山山麓の河川で採集された *Allognosta* 属の幼虫 (双翅目ミズアブ科)。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, p. 86. / 江府町吉原白水川からミズアブ科 *Allognosta* 属 (種名未決定) の幼虫の記録。[鳥取]
- 林 由起・北村憲二 (2010) 島根県松江市におけるナモグリバエ *Chromatomyia horticola* (Goureaux) の発生状況と寄生蜂相。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 1–13. [島根]
- 柿沼 進 (2010) 島根県のニクバエ科分布記録 (2009)。すかしば, No. 58, pp. 1–2. ニクバエ科21種の島根県からの記録。8種が島根県新記録。[島根]
- 柿沼 進・山内健生・中村慎吾 (2011) 広島県および島根県のクロバエ科・ニクバエ科分布記録。比和科学博物館研究報告, No. 52, pp. 23–35. [島根]
- 鶴崎展巨・亀田篤史・花房佑樹・有馬千弘・谷本純子 (2010) 移入種オナジショウジョウバエの鳥取県からの確認。付録: 鳥取県産ショウジョウバエ。山陰自然史研究, No. 5,

pp. 43-48. [鳥取]

吉田浩史(2011)ツリアブ科ノート 青木浩コレクションのツリアブ科標本目録. はなあぶ, (32): 32-33. [鳥取]

### 【昆虫類:トビケラ目】

河瀬直幹・林 成多(2009)鳥根県安来市で採集されたギンボシツツトビケラ *Setodes argentatus* の記録(毛翅目ヒゲナガトビケラ科). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 323-324. [鳥根]

河瀬直幹・林 成多(2010)鳥根県雲南市木次町のふるさと尺の内公園で採集されたトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 79-81. [鳥根]

河瀬直幹・林 成多(2010)鳥根県奥出雲町船通山で採集されたトビケラ目成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 83-86. [鳥根]

河瀬直幹・林 成多(2011)鳥根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園で2010年6月に採集されたトビケラ成虫. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 171-173. [鳥根]

河瀬直幹・林 成多(2011)鳥根県出雲市で採集されたトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 189-193. [鳥根]

河瀬直幹・林 成多・藤原淳一(2010)2007年に松江市鳥根町澄水川で採集されたトビケラ目成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 107-109. [鳥根]

### 【昆虫類:鱗翅目】

筆谷憲一(2009)鳥根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2008年. すかしば, No. 57, pp. 4-5. [鳥取・鳥根]

筆谷憲一(2010)鳥根県・鳥取県・岡山県北部・広島県北部の蝶観察記録2009年. すかしば, No. 58, pp. 14-15. [鳥取・鳥根]

長谷川道明(2011)昆虫類IV. 豊橋市自然史博物館所蔵日本産チョウ類標本目録. 1. アゲハチョウ科・シロチョウ科・シジミチョウ科(1). 豊橋市自然史博物館資料集, No. 23, pp. 1-163. + 4 plates 次の種に鳥取県産の標本記録がみられる: ギフチョウ(鳥取市Furutani, 多鯨ヶ池, 久松山), ウスバシロチョウ, ミヤマカラスアゲハ(江府町Yoshimachi), ウラゴマダラシジミ(福部村1970, 1978). ウラケンシジミ(福部村1970), ダイセンシジミ(大山, 1962), アイノミドリシジミ(大山1962, 1971), ヒサマツミドリシジミ(佐治町1977; 智頭町1977); キリシマミドリシジミ(用瀬町1978), ウラジロミドリシジミ(鳥取市小西谷, 郡家町, 日野町), エゾミドリシジミ(大山), ヒロオビミドリシジミ(郡家町, 福

部村, 鳥取市小西谷), フジミドリシジミ(大山大神山神社, 大山), キマダラルリツバメ(国府町)。次の種に鳥根県の標本が含まれる: ギフチョウ(東出雲町京羅木山), ウラクロシジミ(匹見町), キリシマミドリシジミ(鳥後大満寺山)。[鳥取・鳥根]

板垣 治(2010)鳥根県大田市でリュウキュウムラサキを目撃. すかしば, No. 58, p. 12. [鳥根]

板垣 治(2011)青紋の発達したベニシジミ. ゆらぎあ, No. 29, p. 23. 大山町赤松産のベニシジミの記録。[鳥取]

川上 靖(2010)鳥取県岩美町鴨ヶ磯からのツマグロキチョウの記録. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 82-83. [鳥取]

川元 裕(2010)鳥根県西部におけるウラナミジャノメの採集記録. 山口のむし, No. 9, p. 48. / 益田市飯浦町飯浦, 2♂, 2009年6月13日。[鳥根]

小坂一章(2009)高津川河畔のツマグロキチョウとシルビアシジミ. 山口のむし, No. 8, p. 31. / 2008年8月17日, 益田市神田町木原(三星橋左岸堤防)で採集。[鳥根]

小坂一章(2010)鳥根県益田市に出現したクロマダラソテツシジミ. 山口のむし, No. 9, pp. 67-68. / 益田市須子町, 2♀観察, 2009年9月24日。うち1♀を採集。鳥根県初記録。[鳥根]

國本洗紀(2011)鳥取県中部地区のウラジロミドリシジミの記録. ゆらぎあ, No. 29, p. 25. [鳥取]

國本洗紀(2011)鳥取県のメスグロヒョウモンの記録. ゆらぎあ, No. 29, p. 25. [鳥取]

松田隆嗣(2010)鳥根県への侵入初期と思われるヒロヘリアオイラガの記録. すかしば, No. 58, p. 16. [鳥根]

松田隆嗣(2010)鳥根県のセミヤドリガの記録. すかしば, No. 58, p. 16. [鳥根]

松岡嘉之(2009)新 大山の蝶. 著者自刊(米子プリント), 294 pp. 2000円(本体) [鳥取]

三島秀夫・大浜祥治(2009)隠岐諸島の蛾類(1). すかしば, No. 57, pp. 44-104. [鳥根]

三島秀夫・矢田猛士(2009)鳥根県大田市富山の蛾類II. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 7, pp. 107-119. / 大田市富山町山中で矢田が採集したものを三島が同定。196種。このうちカレハチビマルハキバガ, ヨスジキエダシヤク, フタモンコブガ, トガリヨトウ, ウラモンチビアツバは鳥根県初記録。[鳥根]

三島秀夫・米浦道子(2010)鳥根県大田市久手町の蛾類. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 25-32. / 2008-2009年の採集品。107種。ノシメマダラメイガ, テンスジウスキヨトウは鳥根県初記録だという。[鳥根]

三島秀夫(2011)注目すべき鳥根県のガ数種2010. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 9, pp. 103-105. / 鳥根県初記録として, ベニオビヒゲナガ, オオヒゲナガ, アミメマダガ, ヘリグロノメイガ, キオビトビノメイガ, ウン

- モンシロノメイガ, ウスミドリナミシヤク, サカハチクロナミシヤク, アカモンコナミシヤク, トビイロアカガネヨトウ, ナミグルマアツバ。全種にカラー標本写真付き。[島根]
- 宮本詔子(2010) 益田市の冬季におけるクロマダラソテツシジミ観察記録2009年。すかしば, No. 58, pp. 17-20. [島根]
- 中臣謙太郎・横田光邦(2010) クロメンガタスズメ the death's head (*Acherontia*) の北進, ゆらぎあ, No. 28, pp. 1-4. [鳥取]
- 能美 豪(2010) 松江市でウスキシロチョウを目撃。すかしば, No. 58, p. 42. / 2010年7月20日, 松江市島根県立美術館付近でウスキシロチョウ(迷蝶)を目撃。島根県では初めての記録になるという。[島根]
- 坂田国嗣(2010) 松江市と安来市でメスグロヒョウモン♀確認。すかしば, No. 58, p. 13. [島根]
- 佐々木英之(2009) 島根半島におけるクロコノマチョウの分布。すかしば, No. 57, pp. 7-8. [島根]
- 佐々木英之(2009) 鳥取県西部で発生したクロコノマチョウ。ゆらぎあ, No. 27, pp. 1-6. [鳥取]
- 佐々木英之(2009) 伯耆大山におけるミヤマカラスシジミの観察例。ゆらぎあ, No. 27, pp. 10-11. [鳥取]
- 佐々木英之(2009) ウスイロコノマチョウ秋型(蛹)を採集。ゆらぎあ, No. 27, p. 25. [鳥取]
- 佐々木英之(2009) クロコノマチョウの記録。ゆらぎあ, No. 27, p. 25. [鳥取]
- 佐々木英之(2010) 続。島根半島におけるクロコノマチョウの分布。すかしば, No. 58, pp. 4-6.
- 佐々木英之(2010) ムラサキツバメの生態写真。ゆらぎあ, No. 28, pp. 12-13. [鳥取]
- 佐々木英之(2010) 鳥取県西部におけるクロコノマチョウの化性。ゆらぎあ, No. 28, pp. 5-7. [鳥取]
- 佐々木英之(2011) クロコノマチョウ幼虫頭部の斑紋例。ゆらぎあ, No. 29, pp. 19-20. [鳥取]
- 佐々木英之(2011) シジミチョウ2種の斑紋異常型を採集。ゆらぎあ, No. 29, p. 23. ヤマトシジミとヒメシジミの斑紋異常。ヤマトシジミは松江市島根町と境港市, ヒメシジミは伯耆町大滝産。[鳥取・島根]
- 佐藤隆士・小林佳崇(2010) 2006年から2009年に確認された鳥取県の希少なチョウ類10種の記録。山陰自然史研究, No. 5, pp. 78-82. [鳥取]
- 竹井 一(2011) 鳥取県のウラナミジャノメを巡って。月刊むし, No. 484, pp. 2-8. [鳥取]
- 田村昭夫(2009) 日本産蝶類都道府県別レッドリスト(三訂版)。鳥取県, pp. 210-215. In: 間野隆裕・藤井 恒(編) 日本産チョウ類の衰亡と保護。第6集, 267 pp. [鳥取]
- 田村昭夫(2009) クロメンガタスズメとイチジクヒトリモドキの2009年の動向。ゆらぎあ, No. 27, pp. 22-23. [鳥取]
- 田村昭夫(2009) 米子水鳥公園で採集したガ。ゆらぎあ, No. 27, p. 26. [鳥取]
- 田村昭夫(2009) クロコノマチョウの7月採集から考える。ゆらぎあ, No. 27, p. 7. [鳥取]
- 田村昭夫(2010) 鳥取県倉吉市の南方系鱗翅目の動向について。日本鱗翅学会中国支部会報, No. 11, p. 19. [鳥取]
- 田村昭夫(2011) 倉吉の気象。〜クロメンガタスズメには倉吉の11月は寒い〜。ゆらぎあ, No. 29, p. 27-28. [鳥取]
- 田村昭夫(2011) 鳥取県内で確認された南方系の蛾3種について。日本鱗翅学会中国支部会報, No. 12, p. 11. [鳥取]
- 柳川 稔(2010) イシガキチョウの記録。ゆらぎあ, No. 28, p. 29. [鳥取]
- 山中捷二(2011) エゾミドリシジミの異常型。ゆずりは, No. 51, p. 44. / 2011年7月2日, 扇ノ山で裏面白条が外側に広がった♀(いわゆる流れ紋)。[鳥取]
- 矢野重明(2010) 鳥取県西部産蛾類資料(4)。ドクガ科。ゆらぎあ, No. 28, pp. 9-11. [鳥取]
- 矢野重明(2011) 鳥取県西部産蛾類資料(5)。ゆらぎあ, No. 29, pp. 14-19. [鳥取]
- 淀江賢一郎(2009) 島根県と鳥取県で標識されたアサギマダラが発見される。すかしば, No. 57, pp. 31-33.
- 淀江賢一郎(2009) 日本産蝶類都道府県別レッドリスト(三訂版)。鳥取県, pp. 214-217. In: 間野隆裕・藤井 恒(編) 日本産チョウ類の衰亡と保護。第6集, 267 pp. [島根]
- 淀江賢一郎・中井博喜(2010) 山陰地方における最近の蝶の話題。Butterflies, No. 50, pp. 49-54. [鳥取・島根]
- 淀江賢一郎・中井博喜(2010) クロマダラソテツシジミ島根県における分布拡大(2009)。すかしば, No. 58, pp. 21-26. [島根]
- 近藤万里・星川和夫(2009) ホシミスジ隠岐個体群の成虫の発生消長と生息空間。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 229-234. / 隠岐西ノ島でのホシミスジの発生消長の調査。[島根]

## 【昆虫類:膜翅目】

- Batra, S. W. T., Maeta, Y., Goukon, K. and Onagawa, J. (2009) Nesting behavior and silk secretion by female wasps from unique abdominal spigots in *Psenukus carinifrons iwatai* Gussakovskij (Hymenoptera, Sphecidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 123-146. アナバチ科キアシマエダテの営巣行動と腹部毛突起からの絹糸の分泌の観察。材料は松江市産。[島根]
- 林 成多(2011) アリモドキバチを島根県奥出雲町で採集。

- ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 174. [鳥根]  
 林原毅一郎・前田泰生・北村憲二 (2011) 山陰地方において同所的に分布するスイカズラ科2種, ウグイスカグラとタニウツギにおけるポリネーション・シンドローム. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 1-30. [鳥根]  
 岸本理紗・鶴崎展巨 (2011) 鳥取砂丘とその周囲の砂防林内のアリ相. 山陰自然史研究, No. 6, pp. 37-44. 2009年における鳥取砂丘でのアリ相の調査結果. 鳥取砂丘 (要旨に「鳥取県から」と書かれているのは誤記) から新記録となる9種を含む16種を確認. [鳥取]  
 Konishi, K. (2010) Taxonomic status of *Amebachia* Uchida in the genus *Netelia* Gray (Hymenoptera; Ichneumonidae; Tryphoninae) with descriptions of four new species from Japan. *Entomological Science*, 13: 216-225. ヒメバチ科 *Netelia* 属 *Amebachia* 亜属の改訂. 4新種のうちの1つ *Netelia (Amebachia) yoshimatsui* Konishi の検討標本の鳥根県産の標本が含まれる (高津川). [鳥根]  
 前田泰生 (2010) 珍しいむしが集まる“採集のツボ” —ルリモンハナバチの例—. すかしば, No. 58, pp. 35-38. [鳥根]  
 Maeta, Y., Kawakami, C. and Shimizu, H. (2009) Report on the use of three species of Japanese Mason Bees, the genus *Osmia*, as pollinators of Kiwifruit (Hymenoptera, Megachilidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 1-17. キウイの送粉昆虫としての日本産ツツハナバチ3種 (マメコバチ *Osmia cornifrons*, ツツハナバチ *Osmia taurus*, イマイツツハナバチ *Osmia jacoti*) の送粉能力の調査. 鳥根県伯太町のキウイ園での調査. [鳥根]  
 前田泰生・川上千・清水秀美・北村憲二 (2009) キウイの訪花昆虫と有力送粉者の送粉能力. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 19-34. 鳥根県伯太町のキウイ園での調査. [鳥根]  
 Mitai, K. and Tadauchi, O. (2007) Taxonomic study of the Japanese species of the *Nomada ruficornis* species group (Hymenoptera, Apidae) with remarks on Japanese fauna of the genus *Nomada*. *Esakia*, No. 47, pp. 25-167. / エチゼンキマダラハナバチ *Nomada alboguttata etizenensis* Tsuneki, 1975 の検討標本に鳥根県産が含まれる (大山, 2002.7.13, Y. Maeta, Mt. Daisetsu と書かれているが大山の間違いであろう), フクイキマダラハナバチ *Nomada fukuiana* Tsuneki 1973 (鳥取大山: これも Mt. Daisetsu と誤って記述. 鳥根), *Nomada hakonensis* Cockerell, 1911 ヒゲナガキマダラハナバチ (鳥取智頭那岐山, 鳥根), *Nomada pacifica* ヒロハキマダラハナバチ (鳥取・鳥根), *Nomada pyrifer* Cockerell, 1918 ナシモンキマダラハナバチ (鳥取大山榊水); *Nomada silvicola* Tsuneki, 1973 モリノキマダラハナバチ (鳥取; 芦津), *Nomada towada* Tsuneki, 1973 トワダキマダラハナバチ (鳥取芦津) [鳥取・鳥根]  
 野津幸夫 (2010) 伯耆大山でチャイロスズメバチを撮影. ゆらぎあ, No. 28, pp. 8-9. [鳥取]  
 野津幸夫・名和靖恭 (2010) 名和神社境内で営巣したハチ 4 例. ゆらぎあ, No. 28, pp. 17-25. [鳥取]  
 野津幸夫・名和靖恭・田村昭夫 (2011) 名和神社境内で営巣した蜂. 第2報. ~エサキムカシハナバチを中心にして~, ゆらぎあ, No. 29, pp. 1-8. / 鳥根県大山町名和神社境内でのエサキムカシハナバチ (ミツバチモドキ科) の営巣の記録. [鳥取]  
 Ogata, K. (1988) Ants from Hikimi, Shimane Pref., Japan. *Chugoku Kontyu*, No. 2, p. 19. [鳥根]  
 岡田珠美・佐藤隆士 (2010) 氷ノ山 (鳥根県若桜町) からのキオビホオナガスズメバチ *Dolichovaespula media sugare* の営巣の発見. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 83-84. [鳥取・鳥根]  
 佐藤隆士・鶴崎展巨・濱口京子・木野村恭一 (2010) 鳥根県のアリ類. 鳥根県立博物館研究報告, No. 47, pp. 27-44. [鳥取]  
 田村昭夫 (2010) フクイアナバチとニッポンハナダカバチの記録. ゆらぎあ, No. 28, p. 28. [鳥取]  
 Watanabe, K. & Okajima, S. (2011) New records of *Lissonota (Loxonota) kaiyuanensis* Uchida and *Syzeuctus coreanus* Uchida from Japan (Hymenoptera, Ichneumonidae, Banchinae). *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 17 (1): 137-143. / *Lissonota (Loxonota) kaiyuanensis* Uchida, 1042 シロオビオナガウスマルヒメバチの記録に鳥根県隠岐 (島田孝氏採集の島後布施村中谷の標本) が含まれる. 本種は日本では北海道と佐渡島と隠岐から知られるのみ. [鳥根]

## 【クモガタ類・多足類】

- Ehara, S., Ohashi, K., Gotoh, T., and Tsurusaki, N. (2009) The mite taxa created by S. Ehara and his coauthors with depositories of their type series (Arachnida: Acari). *Bulletin of the Tottori Prefectural Museum*, No. 46, pp. 9-48. / 江原昭三博士と共著者によって創設されたダニ類のタクサ (分類群) およびこれらのタイプ・シリーズの保管施設 (クモガタ綱・ダニ目). [鳥取]  
 亀田篤史・有馬千弘・谷本純子・花房佑樹・鶴崎展巨 (2010) 鳥根県におけるクロガケジグモの分布範囲. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 55-60. [鳥取]  
 皆木宏明 (2011) 鳥根県邑南町で確認されたコケオニグモ (コガネグモ科) の記録. 鳥根県立三瓶自然館研究報告,

No. 9, p. 107. [島根]

## 【甲殻類】

- Nishikawa, Y. (2009) A new genus and 44 new species of the family Coelotidae (Arachnida, Araneae) from Japan. pp. 51-70. In: 小野展嗣(編)日本産クモ類, 東海大学出版会(東京) 738 pp. / ここで新種として記載された種のうちの2種アリタヤチグモ, ミクサヤチグモの検討標本に鳥取県産標本が含まれる。[鳥取]
- Shultz, J. W. and Regier, J. (2009) *Caddo agilis* and *C. pepperella* (Opiliones, Caddidae) diverged phylogenetically before acquiring their disjunct, sympatric distributions in Japan and North America. *Journal of Arachnology*, 37 (2): 238-240. / とともに日本と北米東部に隔離分布するマメザトウムシとヒメマメザトウムシの核遺伝子EF1 $\alpha$ とPol IIの2130塩基長に基づく系統解析。ヒメマメザトウムシとマメザトウムシは体サイズと色の違い以外には基本的な外部形態が酷似しており, 前者は後者からネオテニーとして日本と北米東部のそれぞれで平行的に進化したとする考えもあったが, 分子系統樹はこれを否定。両者は隔離分布が生じる以前から独立種として存在していたことを支持。日本産の材料はマメザトウムシが智頭町芦津トンネル産, ヒメマメザトウムシは智頭町那岐山産。(NT) [鳥取]
- 鶴崎展巨(2009) 地域固有の生物相を把握する. pp. 25-32. In: 岡田昭明(編) 地域環境学への招待. 人と自然の共生・地域資源の活用をめざして. 三恵社(名古屋市), 125 pp. [鳥取]
- 鶴崎展巨(2010) 島根県からの外来種クロガケジグモの初記録と生息範囲. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 269-270. [島根]
- 鶴崎展巨・池原雄太・川戸悟史・仁宮雅弘・家高竜治(2011) 鳥取砂丘砂防林の樹上性クモ相と季節消長. 山陰自然史研究, No. 6, pp. 45-53. / 鳥取砂丘西側クロマツ林でビーティングにより樹上性のクモの季節消長を調べた。44種を確認し, うち36種は鳥取砂丘新記録。鳥取砂丘のクモの既知全種リストを掲載した(70種), アカハネグモ, コジャバラハエトリ, オビボソカニグモ, スズミグモの4種は鳥取県新記録。[鳥取]
- 山内健生・門脇久志・山本哲也・佐藤英文(2009) 隠岐諸島で採集された土壌性カニムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 281-284. / 隠岐諸島3島からの土壌性カニムシ目6種の記録。知夫里島2種, 中之島2種, 島後6種。[島根]
- 林 成多(2011) 島根県出雲市でエビノコバンを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 294. [島根]
- 板木孝典(2010) 島根県東部におけるエビ類の分布調査II. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 279-288. [島根]
- 桑原知春(2010) 島根半島におけるムラサキゴカクガニの記録. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 13, pp. 275-277. [島根]
- 板木孝典(2009) 島根県東部におけるエビ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 12, pp. 299-307. / 島根県東部のエビ類28種の記録。[島根]
- 幸塚久典・本尾 洋(2010) 隠岐の島沿岸で得られたムラサキゴカクガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 129-133. [島根]
- 幸塚久典・本尾 洋(2011) 能登半島および隠岐諸島のウミシダ類に共生するエビ・カニ類. ホシザキグリーン財団研究報告. No. 14, pp. 165-170. [島根]
- 桑原友春(2011) 島根県の中海で採集されたタカノケフサイソガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 194. [島根]
- 桑原友春(2011) 島根県松江市の境水道で採集されたフタバカクガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 262. [島根]
- 桑原友春(2011) 出雲市の稲佐の浜で採集されたハマスナホリガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 268. [島根]
- 桑原友春(2011) 島根県出雲市で採集されたカイメンガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, p. 268. [島根]
- 本尾 洋・村瀬晴好(2010) 日本海産カニ類-II. 部分白化の雄ズワイガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 13, pp. 129-133. [島根]
- 本尾 洋・山内健生(2011) 隠岐道後海域からドレッジで得られた十脚甲殻類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 263-267. [島根]
- 本尾 洋・山内健生・向井哲也(2011) 島根県出雲市沖でバイ箆により得られたコエビ類と異尾類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 14, pp. 257-261. [島根]
- 皆越ようせい(2009) うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ. 岩崎書店(東京) 32 pp. 1400円. / p. 15に大山のふもとの森でみたというコシビロダンゴムシの写真がある。[鳥取]
- Nagasawa, K., Doi, H., Yokoyama, F. (2011) Further records of *Lernaenicus ramosus* (Copepoda: Pennellidae) from groupers (*Epinephelus* spp.) in Japanese waters. *Biogeography*, 13: 51-53. / ハタ類の寄生するクロイ

- カリムシモドキ属(橈脚類ペンネラ科)の1種の記録。今回の検討標本ではないが、既知生息地を示す分布図に鳥根県のプロットが含まれる。[鳥根]
- 橋原有紀子・富川 光・鳥越兼治(2009)世界遺産石見銀山から得られたチョウセンメクラヨコエビ(端脚目:メクラヨコエビ科)。日本生物地理学会会報, 64: 171-176。/ 石見銀山大久保間歩内の小プールから、チョウセンメクラヨコエビを記録。本種のこれまでの記録は朝鮮半島と対馬、五島列島で、本州からはこれが初めての記録となる。[鳥根]
- 布村 昇(2011)富山市科学博物館収蔵資料目録 第24号 甲殻類II(等脚目), 富山市科学博物館(富山市), No. 24, 133 pp. / 富山市科学博物館所蔵の等脚目標本のリスト。次の13種に鳥根県からの記録が含まれる: ミズムシ, キタフナムシ, ニホンチビニホンタマワラジムシ, ヒメフナムシ, ニホンヒメフナムシ, ニホンタマワラジムシ, ニッポンヒロワラジムシ, ニシカワハヤシワラジムシ, クマワラジムシ(外来種), ワラジムシ, オカダンゴムシ, ハマダンゴムシ, イソコツブムシ, 次の16種に鳥根県からの記録が含まれる: ミズムシ(隠岐島後), シンジコスナウミナナフシ(タイプ産地), キタフナムシ(西郷町), フナムシ, シンジコフナムシ(タイプ産地), ニシカワホラワラジムシ(タイプ産地), ニホンハマワラジムシ, ニホンタマワラジムシ, ニッポンヒロワラジムシ, ニシカワハヤシワラジムシ, シロコシビロダンゴムシ, クマワラジムシ(外来種), ワラジムシ(島後), ホソワラジムシ, オカダンゴムシ, ハマダンゴムシ。(NT) [鳥取・鳥根]
- 武田正倫・古田晋平・宮永貴幸・田村昭夫・和田年史(2011)日本海南西部鳥取県沿岸およびその周辺に生息するカニ類。鳥取県立博物館研究報告, No. 48, pp. 29-94。/ 鳥取県沿岸近辺で採集された178種のカニの採集データ, 標本写真つきリスト(鳥取県沿岸は168種)。文献のみの既知記録と合わせると193種になるとのこと。[鳥取]
- Tomikawa, K., Morino, H., Toft, J. and Mawatari, S. F. (2006) A revision of *Eogammarus* Birstein, 1933 (Crustacea, Amphipoda, Anisogammaridae), with a description of a new species. *Journal of Natural History*, 40: 1083-1148。/ 中海から *Eogammarus possjeticus* (Tzvetkava, 1967) ポシエットトゲオヨコエビを記録。[鳥取・鳥根]
- 富川光・中村陽和・橋原有紀子・鳥越兼治・井上雅仁・大畑純二・三島秀夫(2010)石見銀山大久保間歩から得られた甲殻類。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 21-23。/ 2009年3回の調査で得られた甲殻類4種。チョウセンメクラヨコエビを含む。[鳥根]
- 和田年史(2009)鳥取県の砂浜海岸におけるスナガニの分布。鳥取県立博物館研究報告, No. 46, pp. 1-7。[鳥取]
- 和田年史(2010)鳥取県東部の砂浜海岸の侵食によって生命の危機に瀕したスナガニの発見。山陰自然史研究, No. 5, pp. 85-86。[鳥取]
- 山内健生・有山啓之・向井哲也・山内杏子(2006)汽水湖中海におけるオゴノリおよびスジアオノリ葉上のヨコエビ相。陸水学雑誌, 67: 223-229。/ 2002年に中海のオゴノリとスジアオノリに生息するヨコエビ相を調査し, 7科10種を記録。うち8種は中海新記録種。[鳥根]

## 【陸貝類・淡水貝】

- 黒住耐二・一澤 圭・川上 靖(2011)鳥取県立博物館に寄贈された石坂元貝類コレクション—非海産腹足類。鳥取県立博物館研究報告, No. 48, pp. 119-143。/ 1972-1975年に鳥取県に勤務されていた間に鳥取県で精力的に貝類を調査された石坂元氏によって鳥取県立博物館に寄贈された貝類コレクションのうち非海産種をまとめたリスト。分類学的に重要な種についてはコメントが付記されている。亜種などを含め167種(型) 1617個体。[鳥取]
- 湊 宏(2007)紀伊山地におけるパツラマイマイの分布・生息状況。南紀生物, No. 49 (2); 186-188。/ 紀伊山地のパツラマイマイの分布。中国地方と四国の分布記録一覧もまとめられており, 文献記録であるが, 鳥取県内のデータもみえる。[鳥取]
- 湊 宏(2011)陸産貝類研究備忘録(7)—イトウムシオイ種群とクビレイトウムシオイ種群マイナス。かいなかま(阪神貝類談話会) No. 40, pp. 23-34。ムシオイガイ科のイトウムシオイ種群とクビレイトウムシオイ種群の研究史と著者の採集, 研究の経緯の記録。鳥取県固有の1種2亜種であるクビレイトウムシオイガイやヒョットコイトウムシオイガイの発見から鳥取県レッドデータブックへの掲載の経緯まで詳しく紹介されており, 興味深い。[鳥取]
- 湊 宏・中島良典(2010)鳥取県東部で見つかったツクシマイマイ種群。九州の貝(九州貝類談話会), Nos. 73/74, pp. 7-10。/ 九州から山口県にかけて分布するツクシマイマイ種群 *Euhadra* sp. cf. *herkiotsi herkiotsi* (Martens 1860) を2009年10月2日に若桜町根安で採集。かけはなれた分布から移入個体群である疑いが強いとのこと。鳥取県からはマイマイ属 (*Euhadra*) がツクシマイマイ種群以外にこれまでに7種記録されているが, この種数はマイマイ属の多い新潟県に次ぐとされている。(NT) [鳥取]
- 竹林慶謹・和田年史(2010)鳥取県東部の砂浜海岸の打ち上げ貝類とWeb図鑑の作成。鳥取県立博物館研究報告,

No. 47, pp. 7–25. [鳥取]

【その他の無脊椎動物】

木暮陽一(2011)日本海陸棚外縁域から初記録された2種のフクロウニ類:変容する日本海底生動物相. 日本生物地理学会会報, 66: 109–114. / 日本海初記録のオーストンフクロウニとアカフクロウニの記録。うち, アカフクロウニは島根県日御碕北西沖で2011年6月11日に採集されたもの。[島根]

幸塚久典・玉井健太(2009)日本海最西部の浅海産クモヒトデ類(棘皮動物門:クモヒトデ綱) –I. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 12, pp. 325–329. [島根]

幸塚久典・木暮陽一・秋吉英雄(2010)島根県隠岐諸島浅海域における正形ウニ類(棘皮動物:ウニ綱). 日本生物地理学会会報, 65: 65–74. / 2004年から2020年にかけての隠岐諸島の潮間帯から水深40mの地点までの調査で得た5科9属11種の正形ウニ類の報告。サンショウウニやキタムラサキウニも含まれる。[島根]

櫻井 剛・河野重範(2010) 2009年夏に島根半島沖の定置網で混獲されたアオイガイとタコブネ. 島根県立三瓶自然館研究報告, No. 8, pp. 41–46. [島根]

Yamauchi, T. & Suzuki, D. (2008) Geographical distribution of *Ozobranchus jantseanus* (Annelida: Hirudinida:

*Ozobranchidae*) in Japan. *Medical Entomology and Zoology*, 59: 345–349. / ヌマエラビルの国内の分布記録を整理。島根県は平田市(寄主イシガメ)と出雲市矢野町(寄主クサガメ)の記録が含まれる。[島根]

Yamauchi, T., Itoh, T., Yamaguchi, K., Nagasawa, K. (2008) Some leeches (Annelida: Hirudinida: Piscicolidae, Glossiphoniidae) in the Hii River system, Shimane Prefecture, Japan. *Laguna*, No. 15, pp. 19–23. / 中海と宍道湖を含む斐伊川水系の調査で3種のヒル(宍道湖産のシラウオの体表からウオビル科Piscicolidaeの未同定種, 宍道湖と中海からヒダビル*Limnotrachelobdella okae*, 斐伊川のイシガイから*Batracobdella kasmiana*)を記録。[島根]

■鳥取県・島根県内のタイプ産地(2009–2011年記載分)

1. *Asiopodabrus daisenensis* Imasaka & Takahashi, 2010 (ダイセンニンフジョウカイ(鞘翅目ジョウカイボン科). タイプ産地: 大山元谷小屋.
2. *Halorhadinus sawadai* Maruyama & Hayashi, 2009 (鞘翅目ハネカクシ科). タイプ産地: 出雲市猪目町猪目(いのめ)海岸.
3. *Stenoria oohatai* Morimoto & Maeta, 2009 (鞘翅目ツチハンミョウ科). タイプ産地: 江津市跡市町.